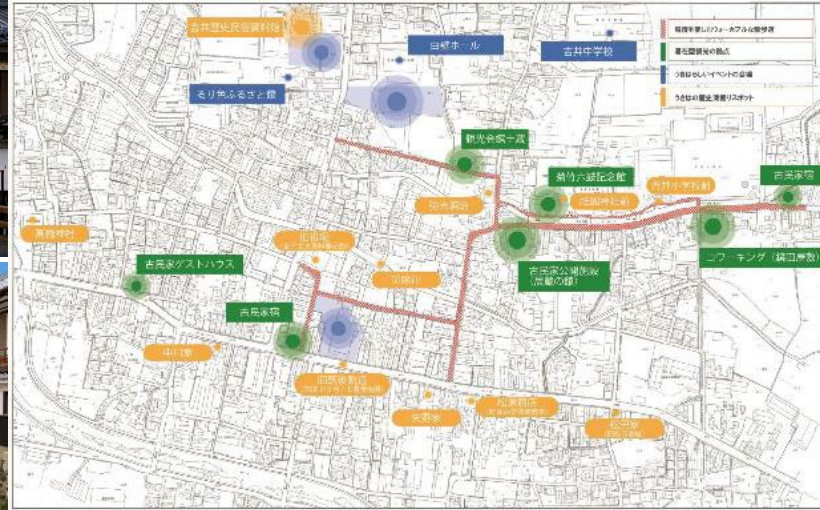


# 地元や行政にエースは必要ない。地域と行政の共通認識が大事！

## 【事業の概要】

うきは市の中心市街地であり歴史的風情が残された筑後吉井地区をウォークブルな街道にしていくことなどを盛り込んだ「筑後吉井グランドビジョン」を2020年3月に策定。

当該エリアを「歩いて楽しい」「歩きやすい」場所にしてシビックプライドの醸成につなげるべく、子どもや若者も巻き込んだまちなかウォークブルに取り組んでいる。



筑後吉井グランドビジョン（抜粋）



## 【オルタナティブな生き方が見えるまち「うきは」】

大量生産・大量消費が当たり前となった現代。そんな時代の中で、食やプロダクトの生産者・作り手と消費者がお互いのことを確認できる距離感が存在するまち「うきは」。ここには現代の鬱屈とした世界観とは違う、オルタナティブな空気が流れています。

今、そのようなうきはの空気を求めて、様々なジャンルの創造的な仕事・志向を持つ人々の移住・創業が増えています。

## 【担当者インタビュー】

うきは市 うきはブランド推進課  
商工振興係 石井健太郎さん



### Q. この取組におけるあなたの役割・担当は？

筑後吉井グランドビジョン及び官民連携まちなか再生推進事業を担当していますが、筑後吉井の中で生活する者としてまちに関わること全ての担当だと考えています。

### Q. 一番苦労した点、一番やりがいや楽しさを感じた点を教えてください。

やりがいを感じたのは、新しい人がまちに入っていく中でまちの空気感が変わっていったこと。何も無いと言われていた場所に毎年少しずつ若い事業者による店等が開店していく。その空気感が伝染していくなかで、良い意味での新陳代謝が起きていると感じます。一方で苦労したのは、他市の出身であり市役所に入社した当時は地元の人間でないことが珍しく、地域との関係づくりに時間を要しました。

### Q. あなたにとって、ウォークブルやまちなか再生に取り組むこととなった最初の一步はなんですか？

筑後吉井に住み始めたこと、創業支援事業の担当になったこと、そして娘ができたこと。娘のためのまち、シビックプライドを感じてもらえるまちをつかっていきたいと強く思いました。

### Q. 全国のウォークブル担当者へ一言！

まちのオリジナリティを見つめ直し、自ら問い直し続けることが大事！全国どこだって遊びに行きます!!